

N部門

(知的障害教育部門)

身体づくりの教材・自助具

(身体の動き等を補助する教材)

教材ガイド



平成27年度作成

東京都立鹿本学園

目 次

- お宝キャッチ
- キャップ外し・キャップはめ
- スローモーション縄跳び
- てゆびをつかってマッチング
- はんぷくくん
- ぷい~ころん
- フラワーアレンジメント
- 一本足坐法
- 指先の操作性を高める
- 書見台
- 落ち着きチェア

お宝キャッチ

～自分の力で掴みとろう～

対象児童・生徒

・目的物を選びとること、目的物を手で掴んだり離したりする活動が必要な児童や、手指の巧緻性を伸ばしたい児童向けの教材です。

N 小5 重度・重複学級

太田ステージ I ~ II



ねらい

・複数の物の中から目的物を選んで自分で掴みとろうとする。回数を重ねる中で腕と手指のコントロールを強化する。

・一つ一つの物にゴムをつけ、選んだ物だけ引っ張って自分の目の前で触れるようにした。
・鏡や人形、色んな感触のあるものを使用し、興味を引き出せるようにした。
・自立活動での個別課題で使用。

教材の使い方 (指導方法)

①一つの教材を選んで引っ張り、児童の前で児童の興味を引くように触って見せる。



②その教材に興味を示さない場合「こんなものもあるよ」と他のものもやってみせる。



③見せた教材をもとに戻し、児童が自主的に腕を伸ばしてとろうとするように言葉をかけた。



④児童がその教材を取るのが難しければ、その場に応じた支援を行い、確実に自分でとれるようにする。



⑤取れたら褒め、楽しい雰囲気と一緒に触り、触れた満足感とまたやりたい気持ちを引き出す。

キャップ外し・キャップはめ ～よく見てまわそう!～

対象児童・生徒

・手指の巧緻性を伸ばしたい児童向けの教材です。

N 小2 重度・重複学級

太田ステージ I ~ II



ねらい

- ・まわす、つまむ等の手指の動きができる。(太田ステージI)
- ・色の違いに気付くことができる。(太田ステージII)

・同じ色のキャップ教材と、違う色のキャップ教材の2種類を作成し、難易度に変化をつけました。

・主に国語・算数や自立活動等の個別課題で使用します。

教材の使い方 (指導方法)

・キャップ外し

- ①利き手で操作を行い、利き手ではない手は板を押さえる。
↓
- ②キャップを外し、小皿に置く。

・キャップはめ

- ①利き手で操作を行い、利き手ではない手は板を押さえる。
↓
- ②小皿からキャップを1つ取り、ペットボトルの口にはめていく。
(色付きのキャップは、同じ色のペットボトルの口にはめる。)

スローモーション縄跳び ～その瞬間に何をするのか～

対象児童・生徒

縄跳びの運動に取り組んでいるが、なかなか上手にできない児童向けです。

N 小5 自閉症学級

太田ステージ



ねらい

- ・縄跳び運動ができるようになる。
- ・縄をゆっくりまわしながら、跳ぶ練習をすることができる。

ゆっくりまわせるように針金を使い、危なくならないようにテープで巻きました。

持ち手の所にはもう一工夫必要だと思いうので、さらに改良していく予定です。

教材の使い方 (指導方法)

縄跳びの練習

- ①手の練習
- ②ジャンプの練習
- ③タイミングを取る練習
- ④3つの動きを合わせたの練習 (←ここで使用する)
- ⑤縄跳びでの練習

てゆびをつかってマッキング ～手指の巧緻性とマッキング力を育てる～

対象児童・生徒

色のマッキング課題を達成しつつあり、かつ手指の操作性に課題がある児童が対象となる。

N 小5 知的障害学級

太田ステージ III-2 ~



ねらい

- ・しょうゆさしの蓋を回して外し、本体の穴にピックを刺すという細かな操作を行うことで、手指の巧緻性を育てる。
- ・ピックとシールの色のマッキングを行う。
- ・同じ写真の所に片付けを行う。

*ピック刺し、しょうゆ刺しだけでなく2つの操作を合わせることで、難易度を上げた。

*箱の中で操作・片付けができるので、細かいパーツがなくなってしまうようになっている。

*指先に集中し、最後までじっくりとやり遂げられるようになっている。

教材の使い方 (指導方法)

- ①箱のふたを開けて、ピックとしょうゆさしの入った入れ物をセットする。
- ②しょうゆさしの赤いふたを開け、ピックを刺す。
- ③ピックのシールと同じ色のシールが貼ってある発泡スチロールに魚の尾の部分を下にして刺す。
- ④すべて終わるまで、②～③を繰り返す。
- ⑤全部刺し終わったら「先生できました。」と見せる。
- ⑥先生に確認をしてもらったら、ひとつずつ魚を抜いて、ピックを外し、しょうゆさしのふたを開める。
- ⑦ピック、しょうゆさし共に、写真を見ながら正しい位置に片付けをする。
- ⑧片付けが終わったら片付けの様子を先生にチェックしてもらう。
- ⑨箱のふたを閉めて終了。

はんぷくくん ～リズムよく跳ぼう!～

対象児童・生徒

・体幹が弱かったり重心移動が苦手な児童向けの教材です。

N 小4 自閉症学級

太田ステージ II ～ IV以上



ねらい

・体をすばやく動かす能力を高める。

・パソコンとフットスイッチを連動させて、左右に置いてあるパネルを踏むと画面上の数字がカウントアップするようになっている。

・左右の重心移動ができるようになってきた。

教材の使い方 (指導方法)

・「よおーいすたーと!」の合図で20秒に設定したタイマーが作動し、左右のパネルを何回踏めるかチャレンジする。



ふ〜ころん ～穴をめがけて息を吹こう～

対象児童・生徒

- ・対象物を注視することが難しい児童。
- ・口をとがらせて球にむかい、息を吹くことが難しい児童。
- ・穴におちたときにコロんという音がすることを楽しめる児童。

N 小4 知的障害学級

太田ステージ II



ねらい

- ・ピンポン玉をよく見て、息を吹くことができる。
- ・穴を目指して調整して息を吹くことができる。

- ・缶の中にピンポン玉が入りやすいようにまわりを紙でかこった。
- ・どこに球をおくのかわかるようにビニールテープをはった。
- ・主にショートの国語、算数で口周りの体操をした後に行った。口を尖らせて息を吹くことや強さを意識して息を吹いていた。

教材の使い方 (指導方法)

- ①見本を見る。
- ②順番を決め、順番になったら前にでて、自分でピンポン玉を青いテープの所に置き、息を吹く。
- ③球が缶の中に入ったらおしまい。



フラワーアレンジメント

～いけばなを通じて操作性と想像性を育てる～

対象児童・生徒

- * 小・中・高の知的・肢体等の全特別支援学校・特別支援学級の児童・生徒対象
- * 自立活動・個別指導・各教科等で使用

軽度・中度・重度学級
太田ステージ I-1～Ⅲ-2



ねらい

- * 指先の操作性やスキルを高める他、目と手の協応を図り、また注視する力を伸ばしていく。
- * 創造性やイメージする能力を育てていく。
- * 軽度の児童・生徒には、日本のいけばなの伝統文化への理解を深めさせていく。

- * エコクラフトテープを使用。軽くて丈夫・形も自在にでき、安全な素材である。
- * 花の色をカラフルにし、花以外にも飾りを作成し、美的にも華やかに飾れるように意識した。

教材の使い方 (指導方法)

- * 花瓶の中に、滑り止めシートを敷いたオアシスを入れる。花や飾りを思い思いにオアシスに挿していく。
- * 高度になると、浅く挿す・深く挿すなどの高さ調節をしたり、色合いや左右のバランスを考えて行うこともできる。
- * 花や飾りの弁別や、色分け・数を数えるなどの指導を行うこともできる。
- * 触ったり、握ったりなどの感覚遊びにも使える。



一本足坐法 ～地に足の着いた坐位～

対象児童・生徒

- ・児童椅子に座ると足を組んで背中を丸めた姿勢になる児童
- ・両足を座面に載せて体育座りのようになる児童。

N 小5 重度・重複学級

太田ステージ I ~ II



ねらい

- ・背筋を伸ばしてバランスを意識して座るようになることをねらっています

・安い折りたたみ椅子の板を外し、円柱の木材を裏面中央にネジ止めして製作。ネジ穴が開いてる木材なのですぐできます。

・座面は少し小さめの、お尻だけがしっかり乗る物を用いた。

・フローリングでは接地面が滑って危なかったなので、しりもちをつかないように脚部にゴムをはめて安全に配慮した。

教材の使い方 (指導方法)

「あれ、なんかいつもの座り方だとむずかしいぞ」と感じ、背筋を伸ばして両足をしっかりつけて座ることを自然と意識するようになります。

- ①座面をお尻の後ろで両手で持ちます。
- ②脚がまっすぐになるように立てて、ゆっくりと座ります。
- ③いつものように足を組もうとするとふらつくので「あれ？」という感じに。
↑
この時点でほぼ狙い達成。「足組まない！」とわかりにくい注意をしなくても自分が感じる事が大事。
- ④自分なりの座りやすさを追求していると、自然に良い姿勢で座ることに。

指先の操作性を高める ～つまむ動作を支援する～

対象児童・生徒

・食具や筆記用具の握り持ちが気になったり、全体的な発達と比べて、手指の操作性が極端に落ち込んでいる児童、生徒が目立ちます。そのような児童、生徒に親指と人差し指を使う「つまむ」活動を支援します。

N 中1 知的障害学級

太田ステージ I ~ III-1



ねらい

意図的に親指と人差し指でつまむ活動を取り入れていくことで、手指の操作性を高めていく。

・人差し指と親指以外は、強制的に使えないようにします。手袋の中で、その3本の指を丸めていられる児童、生徒用に、切り落として縫ったタイプ。丸めていられない児童、生徒用に、5本指タイプで、使わない3本の指は縫い止め、マジックテープで固定できるように2種類作成しました。また、同じ学年でも手の大きさが異なるため、3サイズを用意しました。

教材の使い方 (指導方法)

・児童、生徒の実態に応じて、「切り落としタイプ」、「5本指タイプ」を使い分けます。
・人差し指と、親指のみ出るので、洗濯バサミやおはじき、ビー玉、トング等のつまむ活動を行います。



書見台 ～見る力を育てる～

対象児童・生徒

- ・机の上に置かれた教材等に視線を落として見ることが難しい児童・生徒
- ・見ながら手指を操作することに課題のある児童・生徒

N 小2 重度・重複学級

太田ステージ | ~ ||



ねらい

- ・本や教材に視線を向ける。
- ・置いた教材を見て手指を操作する。

教材の使い方 (指導方法)



角度は4段階に調整可能！
使い方に合わせて、
台を立たせたり…倒したり…
置いた教材が見やすいように、
面は黒にしています。

本を置くときは立たせると◎
描くときは倒して。台に腕を
置くことができるので、安定
して動かすことができます！



書見台専用パネル板付き！！
少人数学習でも使える！
(裏はブラックパネルです。)

※収納時はこんなに隙間に→
場所を取りません。



落ち着きチェア ～椅子のガタガタをなくす～

対象児童・生徒

- ・感覚統合の力が不十分な児童・生徒向けの教具です。
- ・着席中に椅子を前後に揺らしたりガタガタと音を立てたりしている児童・生徒のための教具です。



ねらい

- ・落ち着いて着席し、学習への注目や集中を促す。
- ・感覚統合の力を伸ばす。

- ・椅子の足を一本にすることで、まっすぐ座らないと倒れてしまう構造にした。
- ・足の裏に滑り止めを貼り付け、滑りにくいようにした。
- ・座面は小さめだが、丈夫になるよう3重構造で作成した。

教材の使い方 (指導方法)

- ・椅子の代わりとして、朝の会など集団で話を聞く場面や、授業で着席するときに使用する。
- ・常時使用してもいいし、椅子をがたがたと動かして落ち着かないときや気持ちが荒れているときなど状況に応じて使用することもできる。
- ・座るときは自分で座面を持って適切な位置に設置して慎重に座る。
- ・小さくて持ち運びも便利なので、教室移動の度に持っていくこともできる。